

### 福祉バザーが今年も盛況

10月25日、福祉バザーが市民体育館で開催されました。福祉関係者14団体が出店し、タオルなどの日用品や野菜などを販売。開場と同時に、館内は買い物客の熱気で賑わいました。売り上げの一部は、地域福祉推進活動費や災害義援金などに当てられます。



### 須木の自然と文化財、関連本を楽しむ

10月26日、市内の文化財の見学と、関連する本を楽しむ「小林市の文化財探訪と読書」が開催されました。テーマは「須木の自然と歴史」。26人が参加し、須木の滝や黒木清次文学碑などを見学。市立図書館へ移動し、関連本の絵本や図鑑などが紹介されました。



### 愛のふるさと福祉基金へ寄付

11月6日、シルバー人材センターで開催された「第12回シルバーフェスタ」の実行委員会からその益金10万円が市に寄付されました。この寄付金は「小林市愛のふるさと福祉基金」に積み、障がい者、児童や高齢者の地域福祉の向上のために使われます。



### パパも積極的に育児や家事を楽しもう

子育てや家事についての知識やコツを学ぶイクメン・カジメン「パパくらぶ」の第1回の講演が子育て支援センター「おひさま」で開催されました。父親や家族20人が参加。今年5回開催し、内容はベビーマッサージやおもちゃ作りなどを予定しています。



### 市内 35 公民館 50 チームが グラウンドゴルフで交流

10月15日、第9回市自治公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会が、生駒高原多目的広場で開催されました。【成績・敬称略】(団体)優勝=永久井野自治公民館、2位=鷗野自治公民館、3位=真方1区公民館B、(個人)優勝=永久井次夫(永久井野)、2位=水間千秋(真方1区A)、3位=今別府逸男(岡原B)



市内 35 公民館 50 チーム (小林地区 28 館 39 チーム、野尻地区 7 館 10 チーム) の総勢 283 人が参加しました

### 「チョウザメ炙りちらし」 販売 1 周年と 4000 食達成

10月30日、「小林チョウザメ炙りちらし」が販売開始から1周年を迎えました。また4千食を達成し、注文のあったくま扇で記念イベントが行われました。4千食目を注文したのは、山下晃由さん(写真中央)。山下さんは「何度も食べている。2種類の味が楽しめるのがいい」と話していました。



くす玉を割り祝った後、山下さんには小林チョウザメ料理推進協議会の熊ノ道文会長から、黒豚とナシの詰め合わせが贈られました



3



2



1

### 肉豚枝肉で西村和彦さん総合優勝 県畜産共進会で小林勢健闘

10月22日と23日、高千穂町総合運動公園で「第58回宮崎県畜産共進会肉用種牛の部」が開催されました。3部門に県内各地域を勝ち上がってきた種牛71頭が出品され、小林市からは3部門に8頭が出品。各地域の代表牛と出来を競いました。また、27日、28日には、(株)ミヤチク高崎工場(都城市)で「肉

牛枝肉・肉豚枝肉の部」が開催。肉牛枝肉110頭、肉豚枝肉29頭が出品され、小林市からは肉牛枝肉14頭、肉豚枝肉2群が出品されました。肉豚枝肉の部で西村和彦さん(野尻町東麓)の出品枝肉が見事グランドチャンピオンを受賞。また、肉牛枝肉の部では3年ぶりに西諸県畜連が、団体優勝を獲得しました。

Photo 1 高千穂町で初開催となった県畜産共進会2肉豚枝肉の部でグランドチャンピオン(農林水産省生産局長賞)を受賞した西村和彦さん(左は息子の裕三さん)。3肉牛枝肉の部で団体優勝した西諸県都市畜産販売農業協同組合連合会



6

Photo 4 63年もの間、三ヶ野山鉦踊りの継承を行っている有村さん。合併時には、旧野尻町の各保存会の連合会統合にも尽力。5北西方地区から高速道路への産業道路の必要性を訴え、完成に導いた寺師さん。市土地改良区合同事務所の理事長も務めています。6家族を含め関係者で記念撮影

小林市の振興発展や市民生活の向上などに尽力した人をたたえる「小林市市民表彰式典」が11月3日、文化会館で行われました。表彰されたのは、土地改良事業の進展に尽力し、市の産業経済の向上に貢献した寺師友二さん(北西方)と、三ヶ野山鉦踊りの保存、継承に尽力し、市の郷土芸能の発展に貢献した有村兼秋さ



5



4

### 長きにわたり地域発展に尽力 2部門2人に市民表彰

ん(野尻町三ヶ野山)の2人。小ホールで開催された式典には120人が出席し、2人の表彰を祝いました。肥後市長から表彰状と記念品が贈られると、代表して有村さんが「身に余る光栄。これも市民の皆さまの支援のおかげ。これを契機に、より一層心を引き締め、今後も小林のために努力したい」と謝辞を述べました。

## 貯筋運動で高齢者の体力向上を目指す

11月9日、ゴールデンエイジ大会が市民体育館でありました。高齢者の体力向上を目的として実施され、174人が参加。鹿屋体育大学の川西正志副学長が、身体機能の維持改善を図る「貯筋運動」を指導し、参加者は、音楽に合わせて5種類の運動を行いました。



## 音楽に合わせた絵本の読み聞かせ開催

11月13日、「音楽と絵本の楽しいひととき」が野尻小でありました。同校児童や保育園児、保護者らなど約300人が来場。県内でバイオリンやサクソなどの音楽活動を行うミュージックラボの5人が、演奏を交えながらリズムカルに絵本の読み聞かせをしました。



## がんについて、語りませんか

小林市立病院では月に1回、がんサロン「おじやたもんせカフェ」を開いています。このサロンはがん治療を行う患者の方やその家族の安らぎづくりが目的。会話や情報交換の場としてぜひご活用ください。問い合わせは小林市立病院（TEL 23-4711）まで。



## 「地域医療・健康都市」看板を設置

11月7日、市役所本庁南側に、「地域医療・健康都市 小林市」の看板を設置しました。この宣言は、皆で限りある地域医療を守り育て、小林市に住む全ての人々が住み慣れた地域でずっと元気に暮らしていけることを目指し、今年3月1日宣言されました。



## ナースキャップで気持ち新たな看護学校で戴帽式

11月6日、西諸医師会立小林看護学校で戴帽式が行われました。式を迎えたのは、1年生16人。生徒は教員からナースキャップを与えられ、ナイチンゲール像の火で、手に持ったろうそくを灯しました。内村大介校長は、「看護師を志した初心を忘れずがんばってほしい」と激励しました。



4月に小林西高衛生看護科に入学した生徒たちは、戴帽式を経て本格的な実習に入り、准看護師の資格取得を目指します

## 規格外マンゴーなどを加工 (株)APPと市が企業立地協定

11月13日、スイーツアリスなどを店舗に持つ(株)アールエフファクトリーの関連会社で、農産物の加工などを行う(株)APPと企業立地協定を結びました。調印式で、野元宏二代表取締役(=写真右から2番目)は、「地元の美味しい特産品をお菓子でアピールしていきたい」とあいさつしました。



調印式にて。工場は野尻町三ヶ野山に建設。来年4月に操業予定で、平成30年までに9人の新規雇用を予定しています



9



8

## 「あらゆる魅力、知恵を結集しよう」 中心市街地活性化シンポジウム

全ての市民や、多様な立場の人の生活や経済のシンボルとなる中心市街地を、どう作り上げていくかを探る「中心市街地活性化シンポジウム」が11月12日、文化会館で開催されました。中央大学総合政策学部の細野助博教授は基調講演で、「中心市街地は多様な機能の集積点。あらゆる魅力、皆の知恵を結集してほしい」と市

民総力で取り組む必要性を訴えました。事例発表では、岡山県吉備中央町役場の丸山節夫さんが、道の駅とアンテナショップ運営で成功する加茂川ふるさと交流プラザの取り組みを紹介。パネルディスカッションでは、4人のパネラーが「農」をテーマに、中心市街地のイメージや活用方法などについての意見を交換しました。



7

Photo 7 8 小林商工会議所 所長 所長 副所長 副所長 (株)宮崎 ツアーサービス 終崎庄二代 代表取締役社長、おがわ農園 おがわひろみ 代表取締役 小川 前田喜輝 副市長がパネラーとして登壇。9 アンケート調査を行った小林商工会議所青年部(北ノ園裕一郎会長)に感謝状が贈られました



剣舞一ノ谷を披露する保存会と麓地区の子どもたち。釜松 区長は「難しい踊りをよく覚えてくれた」と話していました

## 3年ぶり剣舞一ノ谷に沸く 須木の秋の風物詩ほぜまつり

11月3日、須木ほぜまつりが須木地区体育館で開催されました。地区対抗のほぜっこ相撲では、小さな力士たちが手に汗握る熱戦を展開。恒例の赤ちゃん土俵入り、いちょう太鼓の披露のほか、3年ぶりに継承活動が復活した麓地区の郷土芸能「剣舞一ノ谷」が披露され、会場を沸かせました。

## デザイナー鳥丸軍雪さん 次世代の若者にエール送る

10月31日、森永貞一郎顕彰会の文化講演会が小林高校で行われました。講師は、英国王室のダイアナ妃などのドレスを手掛けたデザイナー鳥丸軍雪さん。同校生徒や保護者、市民など約500人が訪れ、「私が歩いて来た波乱万丈な外国生活56年」という演題で講話をしました。



鳥丸さんは生徒らに向け「これから多くのチャンスが訪れる。それをつかむために努力を続けてほしい」とエールを送りました